


## 海外派遣研究助成事業による研究の成果

研究者氏名	中田 聡	
所属機関	群馬大学大学院医学系研究科	
・研究に従事した外国の研究機関名 ・参加した国際学会・会議名	参加した国際学会 3rd Congress of the European Academy of Neurology	
渡航期間	自 6月21日 至 6月27日	
・研究内容 ・国際学会・会議内容	国際学会で以下の口演を行いました。	
<p>研究成果 （ 要約：800字 ）</p> <p>2017年6月24日から27日までオランダのアムステルダムにて行われたヨーロッパ神経学会に参加しました。この学会は、世界中から数千人の神経疾患に関わる臨床医、科学者が集まる大きな学会で、様々な分野のエキスパート達がそれぞれの専門性を超えてディスカッションを行うエキサイティングな学会でもあります。その中で、私は26日に行われたneuro-oncologyのセッションにて、口演発表を行ってきました。発表内容は私が大学院で主に研究していたトルコ鞍部 atypical teratoid/ rhabdoid tumor (AT/RT) についてです。この腫瘍は、主に乳幼児の後頭蓋窩に発生する悪性脳腫瘍ですが、同様の組織像や遺伝学的背景を持つトルコ鞍部の一群では、これまでの12例の報告全てが成人女性と、特異な発生状況を示しています。通常の乳幼児AT/RTとは何らかの生物学的違いがあるのでは、と予想されてきましたが、これまでに複数例のシリーズで臨床病理学的な検討が行われたことはありませんでした。今回我々は国内の複数施設に依頼し過去20年に経験された症例6例を集めることができ、特殊な発生状況に加え血管構築や遺伝子不活性化の機序の観点からも従来のAT/RTと異なる可能性を指摘しました。フロアーの先生方には大変に興味を持って頂き、座長を勤められていたNorwayのStorstein先生からは、成人女性にのみ発生する原因についての質問を頂きました。残念ながらその点は今回の研究からは明らかにすることができなかったものの、今後の検討課題とさせて頂くことをお答えしました。自分の発表以外でも、各国のneuro-oncologyの専門家達と意見を交わすことができ、非常に有意義な学会参加となりました。今後、脳外科医として脳腫瘍の診療・研究をしていく上で、様々な結びつきに活かせて行けたらと思います。</p>		